



3

1) 南道路からの外観。敷地形状などの理由から道路と建物が近くなるため、板塀で目隠しを設けた。左官仕上げの外壁や横格子のペランダ手摺と合せて、落ち着いた雰囲気のお宅となった。

2) 玄関アプローチから建物を望む。玄関には建物屋根と一体になった軒が廻っている。深く大きな軒は雨や日差しから建物を守り、毎日の生活の上でも大切な要素のひとつになっている。

3) 一体となったダイニングキッチン。作業性の良いキッチンとするため、あえて目隠し等を設けずダイニングと一体にした。オープンなキッチンは料理を作る様子が見えて、出来上がりが一段と楽しみになる。



2



定番となったナラの玄関建具。左官仕上げの外壁や洗い出しの玄関ポーチと馴染んでいる。

暮らしが奏でる我が家のカタチ



1

完成現場報告

島田市／『風音の家』

文・写真／コロボ 山崎健治

家づくりへの道のり

今回ご紹介するお宅は『風音の家』と題したYさんご家族のお宅です。慣れ親しんだ地域に新しく土地を求め、昨年の暮れに家族3人の暮らしす木の家を建築しました。Yさんと知り合ったのは今から4年ほど前の春、事務所で毎月開催している「木の家相談会」に家族で参加してくれました。まだまだ具体的な計画ではないけれど、ゆくゆくは木の家に暮らしたいというYさんの思いを聞き、その後、見学会に参加していただいたり、お宅に伺って色々な計画の打合せをさせていただきました。打合せ当初は、ご実家の建て替え案や離れ案などもありましたが、さまざまな面で問題もあり最終的には慣れ親しんだこの地域に家を計画する事になりました。しかし、新しい土地を探すと言ってもそう簡単には見つからず、広さや場所、価格などを検討しながらたくさん情報を探したり、少し気になる土地があると、実際の土地を見学に行って周辺状況や日当りなどを確かめたりと苦労をされていました。

そんな時に目に留まった不動産屋さんの情報欄に希望に近い土地を見つけ、「地域や日当りなどは良さそうだけど、土地の形が少し気になるので一度土地を見て欲しい」と連絡をいただきました。土地を見に行く道路に面して横長で、全体的に見ると細長い三角形のような形でした。この敷地に住宅がどのように計画できるかを心配されていました。南道路に対して横長の敷地は意外と貴重で、日当りや駐車スペースの場所などを考えても恵まれた配置ができそうだと感じました。しかし、横長の土地でしたので少し奥行きが浅く、広間などへのプライバシーの確保や、植栽や新小屋のスペースを工夫していかなくては…と感じました。また敷地の北側が斜めに変形しているため、浴室やトイレなどの小さなパーツを組み合せ、敷地の形と間取りを合せて考えていく必要があると感じました。Yさんご家族の間取り等の要望は何っていたので、敷地形状に合わせて建物や駐車スペースを配置し、各部屋のつながりなどをYさんに見ていただきました。「この敷地形状を活かして間取りを配置していくと、駐車スペースがここに来て、水廻りはこの辺りかな。キッチンと広間はこんな感じで繋がります…など」広さや間取りなどは十分な計画ができそうだと納得をいただき、この土地で家づくりを進めていく事になりました。



8



7



5



4



9

7) キッチンとダイニングの正面に薪ストーブを配置した。食事をしながら炎を眺められ、冬のひと時の楽しみとなっている。暖房設備はこれ一台。家中を暖めてくれると喜んでいただいています。

8) 広間の一角のソファコーナー。窓際に低い収納カウンターを設け、TVの周辺機器や細々したものはこの中に収納している。北側に窓を設ける事で広間の風通しも良く、程よい明るさの中で心地よい風が流れる場所となった。

9) 板塀を利用して製作した薪小屋。一年分の薪をストックできる大きさを確保し、また、室内や外観から目立たないながらも利用しやすい場所に設置した。

風の心地よさと 火の暖かさ

ピアノスペースも良い場所が決まり、広間もゆったりとした空間を確保できました。広間はキッチンや階段などと繋がっていますが、ソファやダイニングなど、それぞれのコーナーがあり、個々のスペースとして落ち着く場所になりました。また、敷地形状の助けもあり、広間には南と北に大きな窓を設置する事が出来ました。南北に通した窓を設ける事で心地よい風が通る広間になり、この夏も涼しく過ごす事が出来たと話してくれました。タイトルにつけた『風音の家』は、この土地に流れる心地よい風と、Mちゃんの弾くピアノの音色から名付けたタイトルです。家が完成し、広間に流れる風とピアノの音色を感じると、まさにピッタリのタイトルだと自己満足しています…。

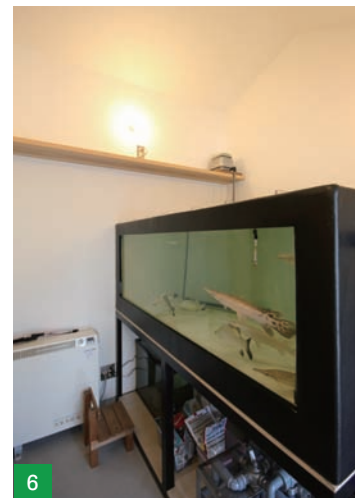
広間にはキッチンからも見える場所に薪

Yさんの希望する家は、開放的で伸び伸びした空間と動きやすいキッチン。そして、Mちゃんが頑張っているピアノを置くスペースと、楽譜などを使いやすい場所に整理できる事。そして、ご主人がどうしても楽しみにしている水槽を置く部屋を作る事でした。水槽なら広間や玄関などの一角に置けるのでは？と思う方も多いと思いますが、実は水槽の大きさが半端ではありません。元々ご実家で各種熱帯魚を飼育していたYさんにとって、水槽と言えば畳一帖程の大きさ。水の循環や排水のための設備なども本格的で、作業スペースなども含めると約4帖半程のスペースが必要でした。掃除やメンテナンスなども考え、玄関土間からそのままつながる場所に水槽室を設けることで、気兼ねなく楽しめるYさん専用の趣味の部屋となりました。

4) 栗の厚板を利用した床板や葛布のガラス戸、大磯砂利の洗い出しなど、和の要素を感じる玄関となった。飾り棚の目的で設けた玄関収納のほか、写真右手には大きめの土間収納を配置している。

5) キッチン近くに設けたピアノスペース。ピアノの練習は毎日の日課。気軽に弾き、また聞いてもらえるスペースとしてなかなか良い場所に配置できた。

6) ご主人念願の水槽が設置された。畳一帖程の大きな水槽で、水の循環などの設備も作られています。



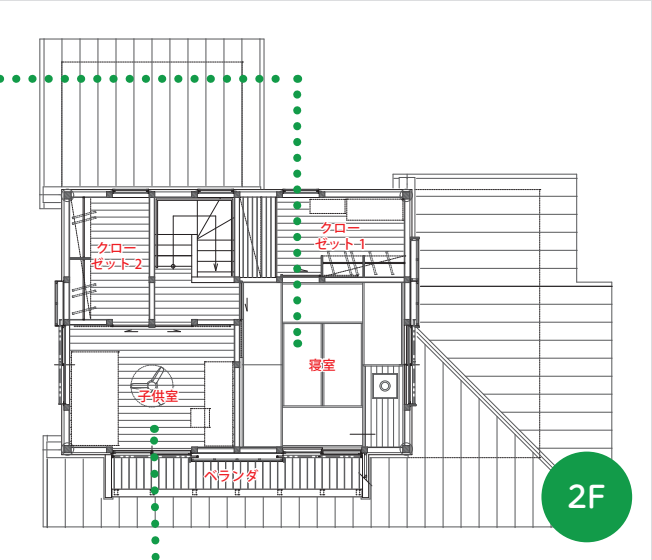
6

今回の計画の中で特に悩んだのがピアノスペースです。電子ピアノやアップライトピアノなど、女の子のお子さんがいる家族では比較的特持っている方も多く、また、簡単に動かせ物ではないから専用の場所を設けたいという希望もあります。アップライトピアノなどは重量もあるのでできれば1階に置きたいし、やはり弾いている所を見たいから広間などに置きたい。今回も同様に広間の程よい場所に配置したいと思い、テレビやソファを置き、大きな窓も配置したい。そして薪ストーブも…。単に置くだけではなく練習する事を考えると近くに楽譜を置く本棚も作りたい。限られた中であれこれと考え、最終的には階段下のスペースを有効に使い、キッチン近くに食品庫と本棚を融合した収納スペースを作りました。お母さんがご飯の支度をしている近くでピアノを弾く。なかなか良い場所になったと満足しています。

ストーブを配置しました。薪ストーブに火を入れるタイミングは夕食の準備と重なる事が多いため、キッチンから見える場所に配置しておかないと家事に気を取られ、気がつくとき火が消えていると言う事もしばしばあります。薪ストーブシーズンは毎日の事なので、ストレス無く暮らす工夫として大切に行っているポイントです。薪ストーブはネスターマーティンS33を選びました。オーロラ炎が特徴的なストーブで、メンテナンスや取り扱いもしやすいストーブと好評です。Yさんの家ではすでに昨シーズンフル活躍しました。家の完成が12月だった事もあり、完成と共に薪ストーブも使い始めました。薪は建築の端材を使っていたのですが、家中とっても暖かいと喜ばれ、寒がりと言う奥さんもとても気に入ってくれたようです。今年の春には薪小屋を作ったのでこれからはたくさん薪を貯めて置けますね。あつという間に薪ストーブシーズンもすぐそこに。今年も楽しみですね。



寝室：ご夫婦の寝室として2階に和室を設けた。薪ストーブの煙突が伸びる一風変わった和室となったが、煙突からの輻射熱で寝室も暖められて役立っている。



2F 平面図

仕様内容	
家族構成	家族 3 人
敷地面積	199.61 m ²
建築面積	74.71 m ²
延べ床面積	104.35 m ²
構法	在来構法 2 階建て
屋根	ガルバリウム鋼板 タテハゼ葺き
外壁	ラスモルタル下地 マサ土掻き落し仕上
外部建具	ガルバリウム鋼板 角波縦貼り 木製オリジナル建具 桧、タモ、ナラ、ヒバ ペアガラス
内部仕上	天井仕上 壁 杉板本実張り 厚 12 mm 床 漆喰塗り クリ本実板 厚 15 mm 桧本実板 厚 15 mm 杉本実板 厚 30 mm オリジナル木製建具
設備	内部建具 キッチン オリジナルキッチン 洗面化粧台 オリジナル化粧台 浴室 オリジナル浴室 壁、天井：サワラ本実板 厚 15 mm 床、腰壁：サーモタイル 300 角貼り
設計者	山崎健治
施工	有限会社こころ木造建築研究所
竣工	平成 25 年 12 月

子供室：屋根勾配を利用して斜め天井の子供室とした。エアコンの変わりにシーリングファンを掛け、優しい風の吹く心地よい部屋となった。M ちゃんのリクエストで天井の梁にハンモックを吊るした。取り付けは強度を考慮して専用の金具を製作。ちょっとした遊び心もいいですね。



毎日が楽しい
木の家暮らしの始まりです

Yさんとの家づくりも、振り返ってみると長かったようで短い期間だったように思います。ご実家で始めた打合せの時は、ご実家の建て替え話にまで広がりが、どうなっちゃうかな？と少し心配もありましたが、新しい土地で本格的に家づくりが始まってからは驚くほど順調に進み、とても良い家づくりが出来たと私も喜んでいきます。

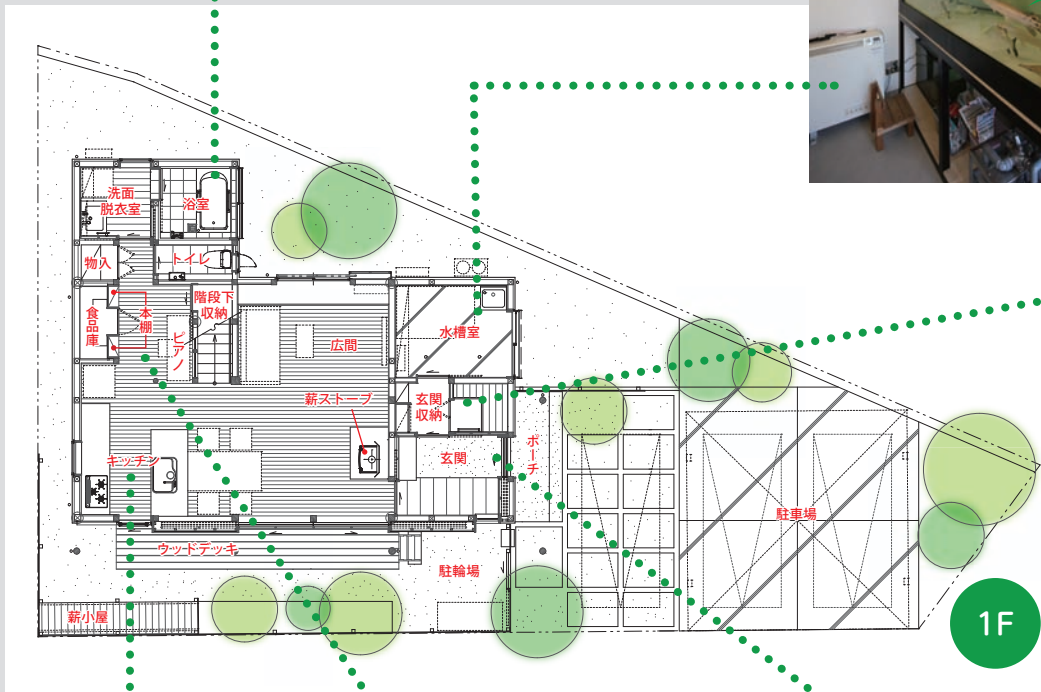
小さく思ったMちゃんも会う度に大きくなり、最近では新しい家を出迎えてくれる姿に驚きを感じます。お母さんと一緒に料理したり、お友達と一緒にハンモックで遊んだり、木の家で楽しい思い出がたくさん作ってね。Yさん、新しい水槽にもお魚がたくさん入りましたね。熱帯魚は寒さに弱いからとこの部屋専用に蓄熱式暖房機を設置しましたが、薪ストーブが意外にも暖かく、不要だったかな？と云う声も…。

そして、一番にこの家を喜んでくれる奥さんにはいつも元気をいただきます。この家の成功は、奥さんの明るさにあったのかも？と思う事もあります。

家の建築は終わりましたが、植栽をはじめ、これからゆくりと家づくりをしていただきたいと思います。そして私も、木の家とMちゃんとお魚の成長を楽しみに、またよくちよくお伺いしたいと思います。



浴室：サワラ板の壁と天井の木の浴室。低く抑えた窓がゆったりとした雰囲気。トイレ：畳一帖ほどのスペースに手洗いカウンターを設けたコンパクトなトイレ。

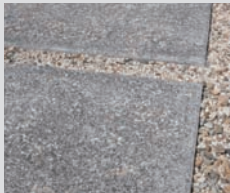


1F 敷地図



キッチン：シンク台とコンロ台を分けた二の字型のキッチン。どちらの台にも広めの作業スペースが確保でき、作業しやすいと好評です。二の字の間に勝手口を設け、ゴミ出しや風通しとしてもありがたい窓です。

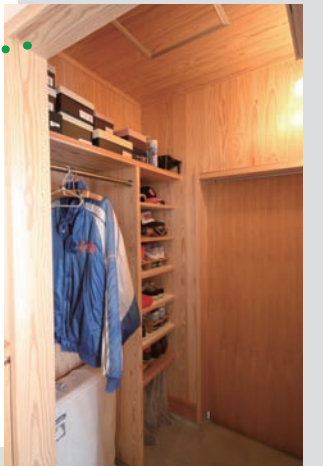
本棚：ピアノスペースの背面に楽譜等が置く本棚を設置。本棚の中央部には隠し扉があり、一帖ほどの食品庫がある。



玄関建具・土間仕上げ：玄関には、雨戸、網戸、ガラス戸の3枚を設置。シチュエーションに合わせて使い分けできる。玄関アプローチは「コンクリートの洗い出し」仕上げ。



水槽室：水槽室は、玄関から土間続きで行ける場所に配置し、4畳半程のスペースに約一帖の大きな水槽が設置されている。



土間玄関収納：玄関脇に靴や上着など、多目的に利用できる物入れも設置。外使いの物やちょっとした細々したものも収納できて便利。

